

筆答専門試験科目
技術経営

30 技専 修

平成29年12月3日

9:30~11:30

注 意 事 項

1. 問題の上に記載されている注意事項をよく読んで解答せよ。

注意事項

1. 問題1及び問題2の全てに解答すること。
2. 解答は問題1問(1)から問(4)、問題2問(1)、問題2問(2)のそれぞれについて、別々の解答用紙に記入すること。
3. 各解答用紙の指定箇所に受験番号を記入すること。

問題1. (配点20) 次の文章を読み、問(1)から問(4)の全てに答えなさい。

東工大附属幼稚園の園児8人が次の1～14の条件を全て満たすように横一列に並んでこちらを向いています。なお、下記文中のアルファベット大文字(A, B, Cなど)は、個人名を表し、同じ名前の園児はいないものとします。

条件：

1. 園児は、男の子と女の子が交互に並んでおり、隣同士は違う色の服を着ています。
2. 同じ性別の園児で同色の服を着た子はいません。
3. 男の子は全員色の違う帽子を被っており、被っている帽子と服の色は全て違います。
4. 女の子は1人が帽子を被り、残りの子はリボンを頭に付けています。
5. Aは男の子です。Aから見て左3人目は黄色い服を着て、白いかばんを持っています。
6. Eは女の子でピンクの服を着ており、Gから見て右2人目にいます。
7. オレンジ色のリボンをつけたFから見て左隣は黄色の帽子を被っており、右隣は白い服を着ています。
8. 列に向かって左端の子は赤いかばんを持ち、右端の子は赤いリボンをつけ、緑色のかばんを持っています。
9. Hは女の子でオレンジ色の服を着て水色のかばんを持っており、Hから見て右隣の子は水色の服を着て、服と違う色のかばんを持っています。Hから見て左隣の子は白い服を着て、かばんは持っていません。
10. 時計を持った子が全部で4人おり、時計を持った子同士は隣り合っていません。また、時計を持った子は、全員かばんも持っています。
11. Bは黄色のかばんを持っており、両隣の子たちはリボンをつけて時計を持っています。
12. 黄色の服を着た子と緑色の服を着た子はそれぞれ2人ずついます。その4人以外は、全て違う色の服を着ています。
13. かばんを持った子は6人おり、かばんの色は、白、赤、黒、黄、緑、水色の6色です。
14. Cは緑色の服を着ており、Cから見て左3人目の子も緑色の服を着ています。Cから見て右隣はオレンジのリボンをつけ、左隣の子はピンク色のリボンをつけています。

この時、次の問(1)から問(4)に答えなさい。

問(1) 帽子を被っている女の子は誰ですか。

問(2) 黒い色のかばんを持っているのは誰ですか。

問(3) Dから見て右隣の子の服の色は何ですか？

問(4) Aが時計を持っている場合、他に時計を持っているのはBの両隣以外の誰ですか。

問題 2. (配点 80) 次の文章を読み、問(1)及び問(2)の全てに答えなさい。

問(1) 図は、日本国内における酒類の生産量の推移を示したグラフである。このうち清酒（主に米、米こうじ及び水を原料として発酵させて濾したものでアルコール分が 22 度未満のもの。いわゆる日本酒。）が減少傾向にある理由として考えうる内容を、下記の例にならって階層的な表を作成し、網羅的に列挙せよ。なお、例示された「消費者の動向」項目は解答に含めても構わないが、「消費者の嗜好の変化」要素とその内容については、解答に含めてはならない。（配点 20）

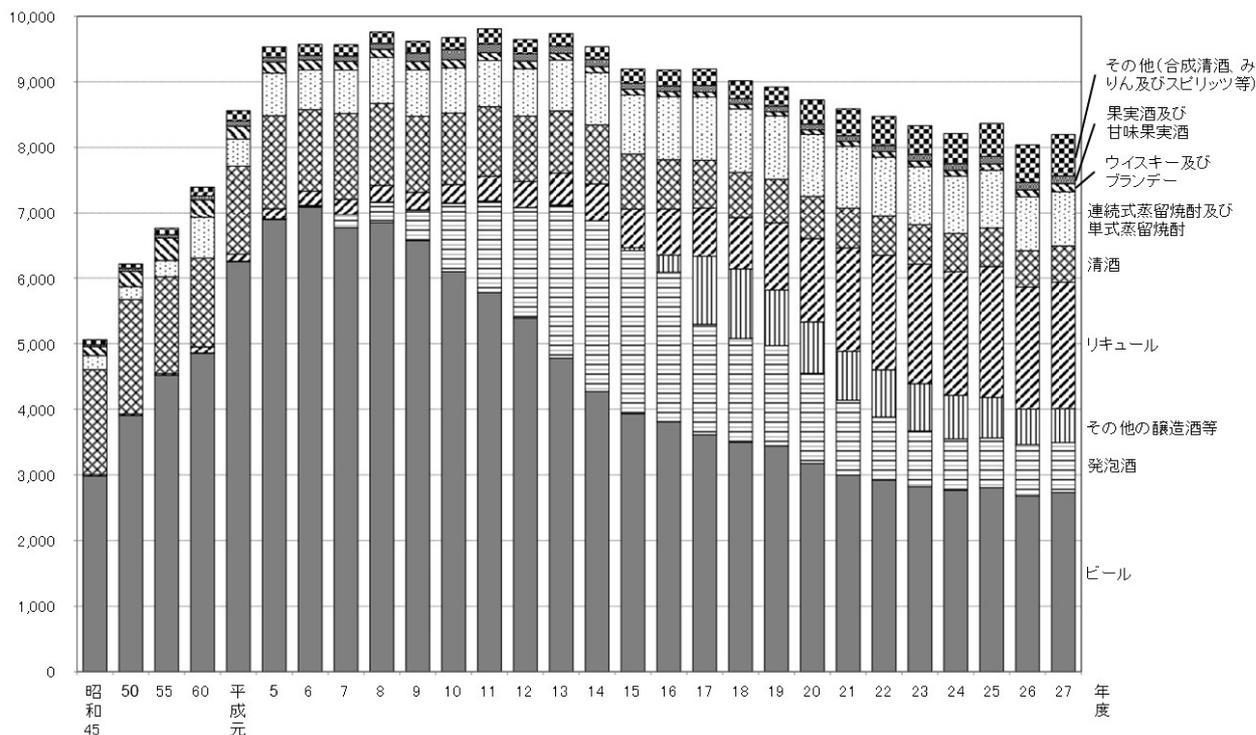


図. 酒類課税数量の推移（国税局分）

課税数量とは、製造場から移出した酒類又は輸入した酒類で酒税が課された数量をいい、国税局分はその前者を指す。単位は千キロリットル。出典：国税庁

例.

| 項目 | 要素 | 内容 |
|--------|-----------|---|
| 消費者の動向 | 消費者の嗜好の変化 | 清酒の消費の一部がリキュールや発泡酒に移行し、消費者数や一人あたりの消費量が減少した。 |
| | | |
| | | |

問(2) 問(1)の表で挙げた要素のうち3つを選択し、それらの観点から、清酒の生産量に関する課題と拡大のための方策を述べよ。字数は、各要素につき 300 字以内とする。（配点 60）

以上